

明治神宮鎮座90年記念国際シンポジウム

内と外から見た明治日本

Meiji Japan as seen from home and abroad



講演

霊の国日本—福沢、渋沢、チェンバレン、ハーン

Ghostly Japan as seen by Fukuzawa, Shibusawa, Chamberlain and Hearn

講師：平川 祐弘氏（東京大学名誉教授）

外からのまなざし、内からのまなざし—博物館と博覧会の明治日本

The view from outside and in: Meiji Japan in the museum and at the exhibition

講師：吉田 憲司氏（国立民族学博物館教授）

パネリスト

稲賀 繁美氏（国際日本文化研究センター教授）

ジョン・グリーン氏（ロンドン大学SOAS助教授・国際日本文化研究センター准教授）

彬子女王殿下（立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェロー）

進行

アンガス・ロッキヤー氏（ロンドン大学SOAS日本研究センター所長）

平成22年11月1日(月) 14:30~17:00

会場：明治神宮参集殿 定員：300名(参加費無料、要申込)

明治神宮国際神道文化研究所主催

明治時代、日本は近代世界の舞台に登場を果たし、海を越えての交流が盛んに行なわれるようになりました。当時の国際社会の中で、日本はどのように振舞い、また諸外国からどのように捉えられていたのでしょうか。鎮座90年を記念して開催する国際シンポジウム『内と外から見た明治日本』では、明治神宮と予てより学術交流を深めているロンドン大学関係者ほか、文学・芸術・思想などさまざまな分野の研究者をお招きします。自国文化への思いと西洋に学ぼうとした努力、また明治日本に寄せられた外からの評価をあらためて検証し、これからの世界におけるわが国のあり方について考えます。

平川 祐弘氏 (Sukehiro Hirakawa) ●東京大学名誉教授

昭和6年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了、文学博士。比較文学者の立場からの著書に、『ラフカディオ・ハーン』(ミネルヴァ書房、和辻哲郎文化賞)、『和魂洋才の系譜』(平凡社)、『天八自ラ助クルモノヲ助ク中村正直と『西国立志編』(名古屋大学出版会)、『アーサー・ウェイリー「源氏物語」の翻訳者』(白水社、日本エッセイスト・クラブ賞)、*Japan's Love-Hate Relationship with the West (Global Oriental)* 等がある。主な訳書にダンテ『神曲』(河出書房)、マンゾーニ『いいなづけ』(河出書房、読売文学賞)。

吉田 憲司氏 (Kenji Yoshida) ●国立民族学博物館教授

昭和30年京都生まれ。京都大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。学術博士。アフリカにおいて造形と儀礼の人類学的研究に従事する一方、博物館における文化表象のあり方の研究を進め、その成果を国内外での展示活動に反映している。著書に『文化の「発見」』(岩波書店、サントリー学芸賞、木村重信民族芸術学会賞)、共編著に『異文化へのまなざし—大英博物館と国立民族学博物館のコレクションから』(NHKサービスセンター)、『柳宗悦と民藝運動』(思文閣出版)等がある。

稲賀 繁美氏 (Shigemi Inaga)

●国際日本文化研究センター教授

昭和32年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科単位習得退学。パリ第7大学博士課程修了、文学博士。芸術におけるモダニズムの成立過程をテーマとした著書に、『絵画の黄昏—エドゥアール・マネ没後の闘争』(名古屋大学出版会、澁澤クローデル賞特別賞・サントリー学芸賞他)、『絵画の東方—オリエンタリズムからジャポニスムへ』(名古屋大学出版会、和辻哲郎文化賞)等がある。主な編著に『異文化理解の倫理にむけて』(名古屋大学出版会)、『終わりがけない「近代」—八木一夫とオブジェ焼』(美学出版)。

ジョン・ブリン氏 (John Breen)

●ロンドン大学SOAS助教授・国際日本文化研究センター准教授

昭和31年ロンドン生まれ。ケンブリッジ大学日本学部卒業。同大学にて博士号取得。現在、近世/近代の神社史、19世紀の皇室を専門とする。主な共著に、*A New History of Shinto* (Blackwells)、編著に、*Yasukuni, the War Dead and the Struggle for Japan's Past* (Columbia University Press)。最近の日本語論文に、「近代山王祭りの原点—官幣大社日吉神社史の一齣」(『人文学報』、平成22年)、「神国日本の復興—二十一世紀における神道の動向」(『歴史評論』、平成22年)がある。

彬子女王殿下 (Princess Akiko of Mikasa)

●立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェロー

昭和56年東京生まれ。学習院大学文学部史学科卒業後、平成22年オックスフォード大学博士課程修了。博士号取得。平成21年10月より立命館大学衣笠総合研究機構PDとして勤務。現在の研究テーマは、在外日本美術コレクションを通じた西洋人の日本美術観の変遷や、近代における京都観の誕生など。主要論文に、「標本から美術へ—19世紀の日本美術蒐集、特にアンダーソン・コレクションの意義について」(『國華』、平成21年)等がある。

アンガス・ロッキヤー氏 (Angus Lockyer) ●ロンドン大学SOAS日本研究センター所長

昭和41年シンガポール生まれ。ケンブリッジ大学歴史学部卒業。ワシントン大学で日本研究の修士課程、スタンフォード大学で歴史学の博士課程を修了。平成12年、博士号取得。近代日本の博覧会・博物館をテーマとした最近の論文に、“*The Logic of Spectacle, c. 1970*”、“*National Museums and Other Cultures in Modern Japan*”がある。本年、*The Spectacle of Development: Japan at the Exhibition, 1862-2005*を上梓。平成20年、日英友好150周年を記念し、ロンドンの日本大使館で開催された特別展「Beyond Diplomacy(外交を超えて)」では、そのキュレーターを担当した。

◎参加ご希望の方は、催事名・住所・氏名・年齢・職業・連絡先を明記の上、葉書またはFAX、電子メールにてお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。受付完了後、受講票をお送りします。

お申し込み・お問い合わせ

明治神宮国際神道文化研究所

〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1

TEL/03-3379-9338 FAX/03-3379-9374

E-mail/center_mj@so.meijijingu.or.jp

≡ FAXの方は下記にご記入の上、このままお送りください。≡

明治神宮鎮座90年記念国際シンポジウム **内と外から見た明治日本**

ふりがな	職業
氏名 (年齢)	
住所(〒)	
電話 ()	FAX ()
E-MAIL	

